

ぶどう 緑化

による甲府市中心街活性化計画

2040
PROJECT
STEP3.5

山梨建築設計4団体合同2040プロジェクト実行委員会

「ぶどう緑化」って何？

山梨の代表的な特産品である「ぶどう」を使って地域独特の景観を創り出すことにより、多岐に渡る地域活性化への効果を期待する計画です。

ポイント1 ぶどうの創る景観は素晴らしい

山梨県民は日常的な光景としてあまり意識していませんが、県外や国外からの来県者にとってぶどう畑、ぶどう棚の風景は富士山にも匹敵する山梨の独特な景観です。これを甲府市中心街の新しい景観形成に利用しない手はありません。

中心市街地の点から線へとぶどう緑化をつなげる事により、大きな観光資源を私達は得ることになります。

ポイント2 地球温暖化エコ時代を先取りする

地球温暖化に対して、ゴーヤなどを使ったグリーンカーテンやビルの壁面緑化、屋上緑化などが全国各地で行われておりますが、山梨ではこれらを「ぶどう」で行うことで、より地域特性を生かしたものになり、先進的なエコシティを目指すことができます。

ポイント3 官民地域みんなで参画できる

官民協働で行う地域活性化のシンボルとして、ハード事業や単発のイベントではなく、継続できる事業として位置づけでき、各々の特性を生かした関わりの中でより多くの人々を巻き込み、収穫したぶどうを使って、ワインやジャム等の生産品への展開、イベントなどが期待できます。

ポイント4 そんなにお金がかからない

この計画は再開発事業や区画整理事業の様に大規模な予算を必要としません。住みよい都市というのは現在「まちづくり」という言葉で語られるようにハードとソフト両方にまたがる地域の人々を巻き込んだ事業に成功した都市のことで、「ぶどう緑化」により地域の人々が自分のまちに誇りを持てるようになることが最終目的の一つでもあります。

ぶどう緑化による甲府市中心市街地活性化計画

山梨建築設計 4 団体を母体とした私達 2040 プロジェクトは、大きな変革期を迎える近い将来に向け、2011 年より、山梨県全体の将来ビジョン及び甲府のまちづくりについて、長期的なグラウンドデザイン等を、プロジェクト STEP1～STEP3 の中で計画すると共に、シンポジウム・提案書の作成及び配布を通じて広く周知を図って参りました。

また、甲府市中心市街地活性化に取り組んだ STEP2 では、市街地緑化をテーマに掲げ、「グリーンリノベーション甲府」を提案し、その事が起因となり「オリオンイースト緑化プロジェクト」を行い、環境景観美化による実践活動にも取り組んで参りました。

私達はこれらの活動や経験を通じて、地域の活性化は「その地域に合った地道な環境景観美化活動」が有益であり、それには（経済・人員・適切な手法等）官民が協力して取り組む事が必要だと強く感じました。

そこで、本年 2 月に開催された山梨県主催による「葡萄によるグリーンカーテン」の講習をプロジェクトメンバーで受講し、私達が提案した「グリーンリノベーション」に、更なる魅力と特色を加えるべく、山梨の特産である「葡萄」による緑化計画を推進する事とし、計画を進めて参りました。

以上の経緯を経て、この度私達は、葡萄による「駐車場緑化、壁面緑化、ランドマークに合わせた緑化」等、単なる環境景観美化の為だけでなく、温暖化対策、延いては観光資源としても寄与する事を目標とし、山梨の特色を前面に押し出した「ぶどう緑化による景観形成」を官民協働で取り組むことを提案致します。

まずは関係諸団体に呼びかけ具体化する為の協議会の設置を目指します。

特産物による世界の景観形成事例

どの国においても、自然景観を除くと、伝統的な建築物や特産物（主に果樹を含む樹木）でその地方の景観が形成されています。

例えば、フランスの垣根作りのブドウ畑、スペインのバレンシア地方のオレンジの街路樹、フロリダの椰子の木の並木、ギリシャのレモン街路樹などで、それらは街や建築物と一体となってその地方の特色ある景観を形成します。

そしてそれらの景観はその地域の人々にとっては原風景であり誇りです、また来訪者にとってはその景観が大きな魅力になります。

山梨であれば甲州ぶどうの棚作りの創りだす景観は地元の人々はあまりにも見慣れていて気づきませんが、世界でも類を見ないものです。

これをうまくアレンジしながら甲府市中心街を世界でも特色のある素敵な街にすることがこのプロジェクトの目的です。



オレンジの街路樹ースペイン・バレンシア

ぶどうを使った世界の景観事例 1



トルファン
中国ウイグル自治区トルファンの中心街に500mにわたって続く青年路のぶどうアーケード。ぶどうの原産地でもあるトルファンは干しぶどうの名産地でぶどうのアーケードは一般的な光景である。



ニューヨーク
ルフトップワイナリー、ニューヨークのビルの屋上に作られたポットを利用したワイナリー。オープンカフェバーが併設されていてパーティーなどのイベントも出来、自然志向のニューヨーカーに人気である。

ぶどうを使った世界の景観事例 2



イタリア
トスカーナ州フィレンツェ郊外にあるワイナリー、アンティノリ
イタリア全土に10ヶ所以上のワイナリーを所有するイタリア最大級のワイナリー。
2002年より10年の歳月をかけて創られた本社兼ワイナリー。



トスカーナのぶどう畑の続く丘陵地帯の地下に建物を埋め込み、屋上にもぶどう畑を再構築した究極の環境建築。
山梨にもこのくらいのワイナリーが欲しい。

緑化による世界の景観事例 1



ガーデンズ・バイ・ザベイ
シンガーポール最大の植物園。
巨大な人工ツリーに空中散策路、展望デッキがなど色々な視点から緑化を楽しませてくれる。
植物が伸びきらなくても楽しめる工夫がみられる。



シンガーポール
マリーナ・ベイ・サンズからの眺望。
狭い国土の中に近代的な建物と植物が上手に調和している。
国土の4割超が公園になっており、維持管理も徹底されている。

緑化による世界の景観事例 2



設計協会シンガポール研修で行ったパークロイヤルホテルチャイナタウンにある五つ星ホテル。自走式駐車場も緑化しており、ありとあらゆる場所を緑化している。



ボタニックガーデンシンガポール初の世界遺産。東京ドーム13個分の広さをもつ植物園の中はジョギングやピクニックを楽しむ人達で賑わっている。自然の中に人工的な緑化も設けられていて、トイレの中も緑化してあった。

ぶどう緑化国内事例 1



観光葡萄園駐車場

山梨ではお馴染みの風景だが新芽の緑、甲府盆地の暑さを遮る木陰、甲州葡萄のたわわに実った風景、そして派手ではない紅葉まで、訪れる人々を楽しませる山梨独特の景観です



通路アーケード

勝沼のワイナリーに続く葡萄のアーケード TV 等で紹介されて、ちょっとした観光名所にもなっている、トルファンのおぶどう谷にはこのような小さなアーケードが路地の至る所にあり市民と観光客を楽しませている

ぶどう緑化国内事例 2



オープンカフェ
シャトーメルシャンのオープンカフェ。ぶどう棚の木陰の下での寛ぎはワイナリーのオープンカフェとしては最適だが甲府の中心街のカフェのしつらえとしても使える。



個人住宅
建築雑誌にも掲載された住宅のゲストスペース、個人住宅でもこのようにぶどう緑化を楽しむ事が普及すると良いが、屋上や駐車場の一面にこんなカフェやパブなんかも可能性が高い

ぶどう緑化による中心街活性化の手法

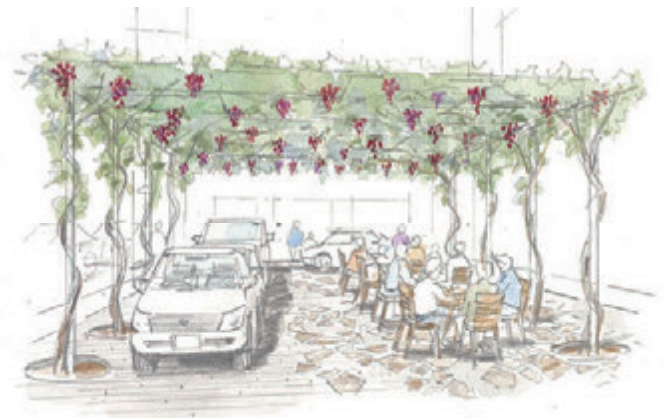
① グリーンカーテン

一般的な日差しを遮る用途以外にも、建物壁面の壁面緑化として環境美化、地球温暖化対策としても貢献できる。
甲府、山梨のランドマークとしての意味もある。
プランター、地植どちらでも対応できる



② ぶどう棚緑化

山梨では観光農園などでお馴染みの風景だが、県外・国外の人々からみると山梨独特な景観である。
今計画では中心街ビル跡地の駐車場の緑化として。オープンカフェの上部に。公園の一角の木漏れ日緑化として計画できる。



③ ぶどう棚ゲート

中心街商店の入り口店頭、公官庁、銀行、オフィスビル等の入り口に各々デザインされた、ぶどう棚のゲートを設置する。並んだ店舗などで共同設置も面白い。
また商店街でアーケードなども計画できる。



- ④ ぶどう緑化生垣
ブロック塀、ネットフェンスをヨーロッパでは主流の生垣作りのぶどう棚で緑化する。公園のフェンスや公官庁の敷地内部の庭園のファクターとしても使える。



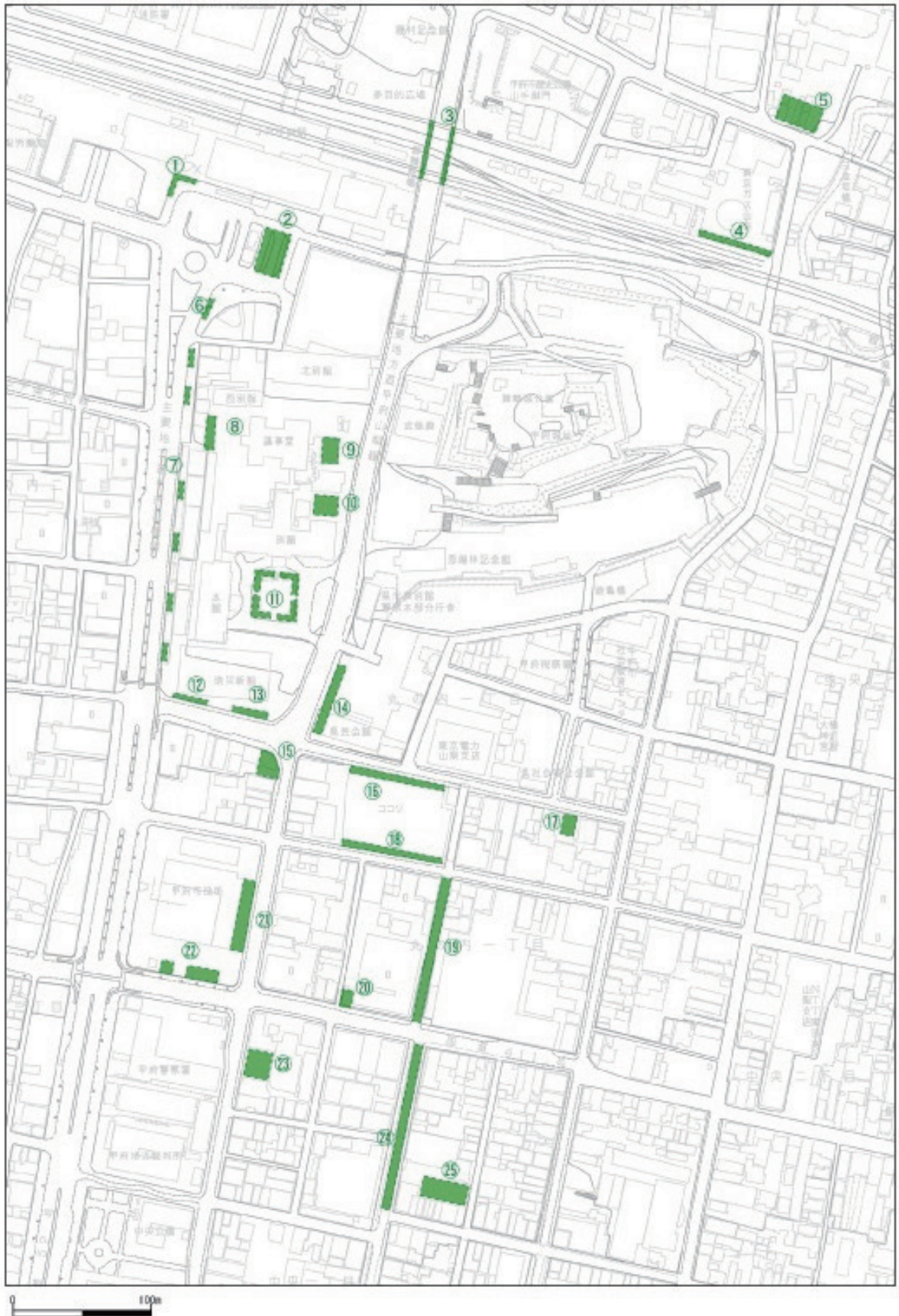
- ⑤ 簡単鉢植えぶどう
甲府市役所等に飾られている、鉢植えぶどうをもう少し大きくして中心街のお店の内外に設置してもらう。
コンテストなども企画できる。



- ⑥ ぶどうアーケード
甲府中心街のシンボリックな通りをぶどうアーケードにする。特産品のぶどうが織り成す四季の風景が中心街を彩ることにより、甲府が市民や観光客にとって魅力的な街になる。



甲府市中心街緑化計画(案)



甲府市中心街ぶどう緑化計画(案)

- ① -A 駅前信玄公像の背景（信玄公の銅像との写真を撮る観光客が多いが後ろに立体駐車場が写り込む）
- ② -B 甲府駅南口広場にぶどう棚休憩スペースを（駅前に特色ある景観を）
- ③ -A 甲府駅東高架陸橋をぶどう緑化に（甲府のファーストインプレッションを鮮やかに）
- ④ -B 甲州夢小路東、東京ガス南通路をぶどう棚緑化
- ⑤ -C サドヤワイナリー入り口にぶどう棚ゲートを
- ⑥ -C 平和通り、8番街の店舗入り口ぶどう棚ゲートを
- ⑦ -D 平和通りバス停上部をプランターゲートで
- ⑧ -C 県庁西玄関にぶどう棚ゲートを
- ⑨ -B 議会東側内庭にぶどう棚を
- ⑩ -B 旧館東側内庭にぶどう棚を
- ⑪ -B 県庁本館前噴水廻りにぶどう棚を
- ⑫ -A 防災新館南側にグリーンカーテンをぶどうで
- ⑬ -B 防災会館南側テラスにぶどう棚を
- ⑭ -A 県職員駐車場をお城の景観の為にぶどう垣根で
- ⑮ -E スクランブル交差点の駐車場をぶどう棚緑化で
- ⑯ -C ココリ店舗フロントにぶどう棚ゲートを
- ⑰ -E 建設業会館駐車場をぶどう棚緑化で
- ⑱ -B ココリ南側駐輪場をぶどう棚緑化で
- ⑲ -F オリオン通りをぶどう棚アーケードで
- ⑳ -C 中銀本店駐車場入り口をぶどう棚ゲートで
- 21-B 甲府市役所東側デッキ上部にぶどう棚を
- 22-E 甲府市役所南側駐車場をぶどう棚緑化で
- 23-E 古名屋ホテル西側駐車場をぶどう棚緑化へ
- 24-F 春日通りをぶどう棚アーケードに
- 25-E 中心街駐車場をぶどう棚緑化へ

タイプインデックス A グリーンカーテン B ぶどう棚休憩スペース
C ぶどう棚ゲート D プランター
E 駐車場緑化 F グリーンアーケード

甲府市中心街緑化計画案イメージ図 1



県庁中庭の噴水周辺をぶどう棚で緑化し、中庭を利用する人々に緑の木陰を提供する。
同時に、県庁防災新館前のテラスもぶどう棚で緑化し、道行く人々に緑の木陰を提供する。



県庁防災新館前緑化イメージ。
夏の日差しを遮る木陰のスペースは通行人のみならず、休息や会話のためのくつろいだスペースを生み出す。

甲府市中心街緑化計画案イメージ図 2



山梨の玄関である甲府駅前の信玄公の像の背面を地域の特産であるぶどうで緑化する。垣根仕立てとし、屏風のように後方の風景から切り離す。



街中で少なからぬ面積を占める駐車場をぶどう棚で覆うことにより、都市の緑化と地域景観の向上に利用する。

ぶどう緑化中心街活性化計画を具体化する為の行動計画

- 1) ぶどう緑化協議会の設置
出席要請団体（案） 県、甲府市、甲府商工会議所、造園建設協会、
山梨大学、山梨県立大学、山梨中央銀行、まちづ
くり会社甲府、仲田育事業財団、2040プロジ
ェクト、他。
- 2) 30年度中 協議会3～4回開催 参加団体の確定
支援組織の整備
パイロットプロジェクトの立ち上げ
- 3) 30年度末（2019年3月ごろ実行組織立ち上げ）
仮称「まちなかぶどう畑 甲府」
事務局 山梨県建築設計協会
 - a 企画立案サポート 2040プロジェクト、山梨大学、県立大学
研究機関、行政関係セクション
 - ・ 具体的なプロジェクトの立案
 - ・ デザインイニシャルコスト等の提示
 - ・ 各方面との調整
 - ・ 広報、NPO法人化の検討
 - b 資金サポート 甲府市 県 甲府ロータリークラブ
経済団体 仲田育成事業財団
 - ・ 資金調達のための具体的検討 クラウドファンド等
 - ・ 補助、助成制度の整備
 - c メンテ
サポート 農業団体 造園建設協会、果樹試験場、
ぶどう農家、学生市民 県
 - ・ メンテナンス人員の確保、方法の確立
 - ・ 育成方法メンテナンス講習会の開催
 - ・ メンテナンスイベントの開催
 - ・ 農援隊